

魅力ある授業のために（単元化例） 言語文化 読むこと

1 単元の目標

- (1) 我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解することができる。〔知識及び技能〕 (2)ア
- (2) 作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めることができる。〔思考力、判断力、表現力〕 B (1)エ
- (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。「学びに向かう力、人間性等」

2 指導と評価の計画

科目名	言語文化	学年類型	1年	単位数	2単位	話すこと 聞くこと		
単元名	西洋の寓話や日本の仏教説話について読み比べてみよう （『欺く者はなげく』）					書くこと		
単元の評価規準								
知識・技能		思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度			
我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。		「読むこと」において、作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。			他の作品との読み比べ活動を通して、本作品をより深く理解するよう、粘り強く調査したり、学習の見通しをもって考察したりしようとしている。			
主たる言語活動								
西洋の寓話や日本の仏教説話などと本文を比較して、論じたり批評したりする活動。								
時間	授業のねらい・主たる学習活動				重点項目			評価方法
					知	思	態	
1	本作品と西洋の寓話や日本古来の仏教説話を比較し、その特徴を調べる。 ①単元の目標を確認し、学習の見通しをもつ。 ②歴史的仮名遣いに注意して、ペアで本文を音読する。 ③登場する動物の性格について考察し、本作品のテーマについてワークシートに記述する。 ④4人グループになり、各自の考察について発表し、話し合う。 ⑤日本の仏教説話と比較するグループと、西洋の寓話と比較するグループに分かれ、比較するに適した作品を検討する。 ⑥西洋の寓話や日本古来の仏教説話の特徴について、グループごとに調べ、ワークシートに記述する。				○	○		・行動の観察 （グループ活動） ・記述の点検 （ワークシート）
2	西洋の寓話や日本古来の仏教説話と本作品について、調べたことをグループごとに発表する。 ⑦西洋の寓話や日本古来の仏教説話と、本作品との共通点や差異をグループで話し合い、まとめる。 ⑧西洋の寓話や日本古来の仏教説話の特徴について、調べたことや相違点などをグループごとに発表する。 ⑨振り返りをする。					◎	◎	・行動の分析 （発表） ・記述の分析 （ワークシート）
定期考査					◎			

※重点項目について、「◎」は総括の資料とするもの、「○」は、総括の資料とせず、不満足な場合は何らかの指導を行う。

3 思考・判断・表現のルーブリック

観点	評価A	評価B	評価C
作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。	他の作品との読み比べを通して、作品の成立した文化的背景や西洋との違い、時代による違いを理解し、内容の解釈を深めている。	他の作品との読み比べを通して、作品の成立した文化的背景を理解し、内容の解釈を深めている。	他の作品との読み比べをして、本作品の内容を解釈している。